

JA共済 小・中学生 交通安全ポスターコンクールの お知らせ



交通事故は年々減っているものの、子どもが巻き込まれる悲しい事故は未だなくなりません。交通事故に遭わないようにするだけでなく、将来交通事故を起こさない意識を養うためにも交通ルールやマナーの知識は必要不可欠です。ルールやマナーを学び、交通安全の大切さについて考え、ポスターにして伝えることは、深い学びにつながります。このコンクールに、クラスまたは学校で取り組んでみませんか？

コンクールに 込めた思い

次代を担う小・中学生の皆さんに、「相互扶助」と思いやりの気持ちを伝えるとともに、児童・生徒の図画工作・美術教育の高揚をはかり、交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的として「交通安全ポスターコンクール」を開催しています。

審査員長の声



多摩美術大学 名誉教授
アートディレクター
中島 祥文先生

交通安全について、誰もが知っていることでも、視点を変えたり、伝え方を工夫することで人々の考えを深めるチカラになります。

ポスターの役割を考え、交通安全を広めるために、何をしたらいいかを一人ひとりが考えることはとても大切なことです。このコンクールは毎年約15万人もの小・中学生が交通安全への思いを胸に焼き付けてポスターを作っています。すごいことです。

後援省庁の声



文部科学省
初等中等教育局 元視学官
東良 雅人先生

ポスターを描くことは、見る人の気持ちになって、自分の考えたことや伝えたいことを形や色を使って表現する力を養います。人の心に響くポスターを描くためには、交通安全について自分のこととして考え、小学生・中学生ともにその時期だからこそ感じられる「今」の自分の気持ちを素直に伝えること、日頃の生活の中で様々なことに興味を持ち、目を向けて考えることを大切にさせましょう。

学校教員の声



全国学校安全教育研究会
会長 木間 東平先生

交通安全教育は、単に交通ルールを指導するだけでなく、様々な場面における危険予測ができる能力を育てる必要があります。また、自他の生命を尊重する態度を育てることも重要です。

全国の小・中学校においては、このコンクールへの児童・生徒への応募の働きかけ、指導・活動を通して、児童・生徒一人ひとりの交通安全意識を高め、危険予測能力の育成、自他の生命の尊重につながることを期待しています。さらに、このポスターが交通事故のさらなる減少につながると信じています。

「JA共済 小・中学生 交通安全ポスターコンクール」3つの特徴

①協賛・後援

省庁をはじめ、毎年多くの協賛・後援をいただいているコンクールです。

令和元年度
文部科学大臣賞

鹿児島県 小学校5年
下戸 良佑



②令和元年度参加学校数

全国の
小・中学校のうち

7,108校

出典:文部科学省 令和元年度学校基本調査



③歴史

昭和47年より約半世紀続く
歴史あるコンクールです。

応募総数 **9,417,711** 点

これまでの画用紙を並べると 約5,085km
日本の全長の約1.6倍*

*四つ切サイズの画用紙の
長辺を約54cmとして換算



今年の課題や詳しい応募方法はコチラ

交通安全を
訴えるための
ポスターと
します。

課題

- 子ども向けまたは歩行者向けの交通安全ポスター
(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの。)
- 運転者向けの交通安全ポスター
(自動車・バイク・自転車等を運転する人に交通事故の防止を呼びかけるもの。)

JA 共済連長野

検索

<https://www.jakyosai-nagano.jp/>



後援

長野県・長野県教育委員会・JA 長野中央会・JA 長野県組合長会・長野県交通安全協会・長野県交通安全運動推進本部・日本農業新聞・信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日放送・長野エフエム放送

応募締切 令和3年8月27日

お問い合わせ先: JA共済連長野 JA支援部 026-219-6255

注意事項: 作品は最寄りのJAへ応募ください。JAから配布された名札に「学校名」「学年」「氏名」「所属JA名」を明記して作品の左下に必ず貼付してください。入選・入賞にかかる新聞等への発表は、名札に記載の「学校名」「学年」「氏名」が掲載されます。そのほか詳細はJA共済連ホームページをご覧ください。